

### 令和8年 新年互礼会

令和8年1月4日(日)シティプラザ大阪2階  
「旬の間」にて、公益社団法人大阪府鍼灸師会 令和8年新年互礼会が執り行われました。



#### 令和八年 年頭のご挨拶 —「丙午」の活力を、鍼灸界V字回復の起点に—

謹啓 新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、本会の活動に多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は「乙巳(きのとへび)」の年でした。巳の象意である「脱皮」と「再生」が示す通り、大阪関西万博という歴史的イベントを経て、私たちはこれまでの固定観念を脱ぎ捨て、新たな時代の波を感じた一年であったと思います。

そして本年、令和八年は「丙午(ひのえうま)」を迎える。

丙午は、天を突くような情熱と、大地を駆ける馬の如き圧倒的なエネルギーを象徴する年です。

私は、昨年までの「再生」への準備を土台に、本年こそが我が鍼灸業界にとって力強い「V字回復」を果たすための真の起点になると確信しております。

さて、新年の門出にあたり、私は会長として、そして一人の鍼灸師としての「夢」を皆様にお伝えしたいと思います。

私には、これから鍼灸の未来を拓くために、どうしても実現したい二つの想いがあります。

一つは、「未病・養生」という予防医学の代名詞として、鍼灸が社会の当たり前になることです。

万博を経て、人々のウェルネスへの関心はかつてないほど高まっています。

病を未然に防ぎ、心身を健やかに保つという鍼灸の真髄を、私たちの手で改めて世の中に知らしめたい。それが私の願いです。

もう一つは、「緩和ケア医療」という最も寄り添いを必要とする現場において、鍼灸が不可欠な存在になることです。

患者様の痛みや苦痛を和らげ、最期までその人らしく生きることを支える。医療機関と手を取り合い、多死社会における新たな「癒やしの光」として、鍼灸の価値を確立したいと考えています。

これらは、もしかすると大きな夢かもしれません。しかし、丙午の象徴する「勢い」と、会員の皆様が持つ「情熱」があれば、必ずや道は拓けると信じております。

本年も、会員の皆様と共に未来へ挑戦する一年にしていきたいと存じます。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

謹白

令和八年 元旦

公益社団法人 大阪府鍼灸師会 会長 堀口 正剛

#### CONTENTS

**F1** 新年互礼会  
令和八年 年頭のご挨拶

**F3** スポーツボランティア  
事前研修会を開催しました  
【広告】株式会社山正  
【広告】m\*create

**F5** 河内長野シティマラソン大会に  
参加して

**F7** 靈柩勉強会報告

**F6** 【学術講習会報告】  
あらゆる疾患に応用できる  
鍼灸治療の組み立て方

**F8** 令和8年度  
2月・3月研修事業のご案内  
公益社団法人大阪府鍼灸師会  
主要行事予定表

**F2** 永年勤続表彰式  
特別表彰授与式  
【広告】ダイヤ工業株式会社  
【広告】日進医療器株式会社

**F4** 河内長野シティマラソン大会に  
参加して

## 永年勤続表彰式

大阪府鍼灸師会在籍50年を迎えた会員のみなさまを称える永年勤続表彰式では、登壇された住吉地域 中嶋 正雄（なかじまさお）先生に感謝状が贈られ、感謝とともに挨拶を述べされました。



## 特別表彰授与式

特別表彰として当会監事の得本誠先生、大東地域若杉昌司先生、高槻地域岩英進先生の3名が表彰されました。授与式では得本先生と岩先生が登壇されました。

得本誠先生は、永年にわたり大阪府鍼灸師会の会長として本会を牽引され、組織の発展と鍼灸の社会的信頼向上に多大なる貢献をされました。そのご功績に敬意を表します。

岩英進先生は、スポーツ現場において鍼灸師としての専門性を活かし、選手のサポートならびに鍼灸の普及啓発に大きく貢献されました。そのご功績に敬意を表します。



**柔整師・鍼灸師のための  
展示・商談会**

柔整・鍼灸メディカルショー in 大阪

2026年3月20日(金祝) 10:00~16:00

会場: 森ノ宮医療大学 体育館

入場無料

事前予約は[こちら!](#)

### 全品10%OFFキャンペーン



#### 新製品の試着体験会!



ステー不使用で  
ニーアン制限に特化

『薄い・軽い・強い』  
アスリート専用

妊娠・産後のための  
ママサポ骨盤ベルト

#### 最新情報は[こちら!](#)



## 舌診アプリ Seeta(シータ)

### 鍼灸院掲載募集中!

自分の舌から体調を知る、  
新しいセルフケア体験を。

無料



Seetaは、舌の色・形・舌苔などの情報から体調や体质の傾向をかんたんにチェックできる東洋医学に基づいた新しいセルフケアツールです。

\*ご利用にはスマホとLINEアプリが必要です



#### 全国の鍼灸院

お住まいの地域を選択してください

経道別鍼灸の鍼法同一窓に移動します



#### 詳しくは[こちら](#)

##### ■SeetaHP

サービス概要を掲載したHPに鍼灸院掲載についてご案内しております。



##### ■LINEを友だち追加

右のQRコードから「Seeta公式LINE」を登録できます。



郵便番号をもとにユーザー様と鍼灸院様をマッチングし、登録後はワンクリックで最寄りの鍼灸院を紹介できる仕組みです。

## スポーツボランティア事前研修会を開催しました

普及啓発委員長 岩津優希  
スポーツ鍼灸プロジェクト委員長 松尾正己

令和8年1月11日（日）、大阪府鍼灸師会館にて、マラソン大会に向けたスポーツボランティア事前研修会を開催しました。

当日は、会員・準会員・学生あわせて28名が参加しました。

午前中は会館4階にて、大会当日の重要事項の申し合わせおよび問診についての説明を行い、マラソン大会の現場で求められる対応や注意点を共有しました。

午後からは会館3階に移動し、英語講習および実技研修を実施しました。

英語講習では 南雅子先生 にご登壇いただき、英語が苦手な方でも笑顔で楽しみながら学べる内容となりました。

実技研修では、英語講習で学んだ表現を早速活用する場面も見られ、実際の大会現場を意識した実践的な研修となりました。

また、これまで長年にわたりマラソン大会のケアボランティアを支えてこられた先輩の先生方にもご協力をいただき、学生や今回新たに参加された先生方にとって、今後の活動に活かせる非常に有意義な実技研修となりました。

本年度は、この研修会に参加した学生・先生方がチームとなり、令和8年1月18日（日）開催の河内長野シティマラソン、令和8年2月22日（日）開催の大坂マラソンにおいて、ランナーの安心・安全を支えるケアサポートに全力で取り組んでまいります。

研修会終了後には、毎年恒例の懇親会を開催しました。

学生・準会員・ベテランの先生方が世代を超えて意見交換を行い、日々の臨床やスポーツ現場についてざっくばらんに語り合う、大変盛り上がった時間となりました。

懇親会ならではの交流も多く、今後の活動につながる貴重な機会となりました。



## 新登場。長生灸 Non-smoke soft

煙が出ないお灸シリーズに、  
やさしい温度帯を追加。



2026.1.21  
発売

繊細なお肌や  
フェムケアにも。

### 温度のめやす

長生灸 (煙の出るタイプ)	レギュラー	低温	高温
長生灸 Non-smoke (煙の出ないタイプ)	ライト	低温	高温
	ソフト	低温	高温
長生灸 Non-smoke (煙の出ないタイプ)	レギュラー	低温	高温
	ソフト	低温	高温

前回の「長生灸 Non-smoke」は  
「長生灸 Non-smoke レギュラー」となります。

伊吹もぐさ製造本舗  
**株式会社 山正**

本社 〒526-0244 遊撫県長浜市内保町 238番地2  
TEL 0749-74-0330 FAX 0749-74-0466  
東京営業所 〒180-0004 東京都板橋区吉祥寺本町 1-20-1 吉祥寺水谷シティプラザ 917号室  
TEL 0422-23-7881 FAX 0422-23-7882



お客様の  
こんな作りたいネン  
に応えます！



- 名刺
- テラシ
- パンフレット
- 看板
- etc...

なんか作りたいけど、  
どうしたらええかわからん…

そんな時はお気軽にご相談を。  
企画・デザインから印刷、  
ご納品までお任せ下さい！



creative studio  
**m\*create**

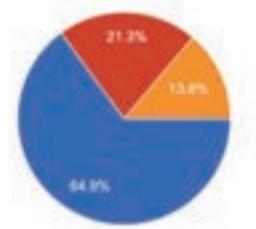
〒560-0036 大阪府豊中市螢池西町2-13-12-801

お問合せは 090-9869-0466

✉ kobayashi@mcreate.design

📞 phone&fax 06-7710-1576

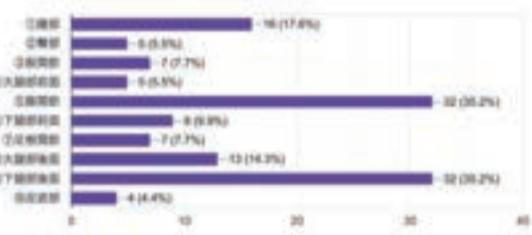


月間練習日数  
94件の回答

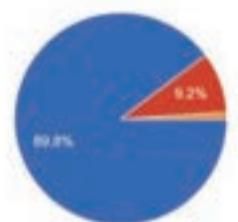
**結果** 「①10日以下」の回答は最も多い61名で、全体の64.9%であった。

前述「①有」の鍼灸を受ける目的  
43件の回答

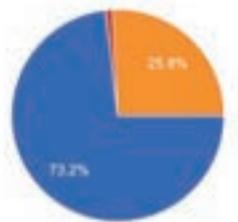
**結果** 「①肩こり、腰痛など」の回答は最も多い25名で、全体の58.1%であった。

気になる部位  
91件の回答

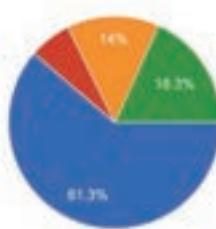
**結果** 「⑤膝関節、⑨下腿部後面」の回答は最も多い32名で、全体の35.2%であった。(複数回答あり)

サービスの満足度  
98件の回答

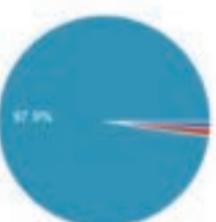
**結果** 「①満足」の回答が最も多く88名で、全体の89.8%であった。

今後コンディショニングに鍼灸を受けるか  
97件の回答

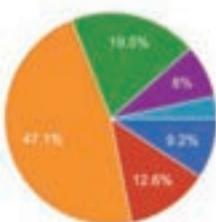
**結果** 「①思った」の回答は最も多く71名で、全体の7.3%であった。

月間練習距離  
93件の回答

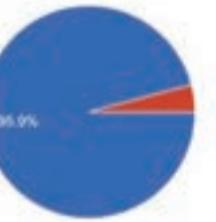
**結果** 「①150km以下」の回答は最も多く57名で、全体の61.3%であった。

アレルギーの有無  
94件の回答

**結果** 「⑤アレルギーなし」の回答は最も多く92名で、全体の97.9%であった。

気になる部位のペインスケール  
87件の回答

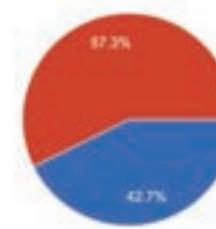
**結果** 「②少し痛い」の回答は最も多く41名で、全体の47.1%であった。

スタッフの対応  
98件の回答

**結果** 「①良かった」の回答は最も多く94名で、全体の95.9%であった。

指摘された部位の状態  
43件の回答

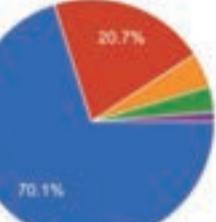
**結果** 「②筋緊張」の回答は最も多く41名で、全体の95.3%であった。

鍼灸を受けた経験  
96件の回答

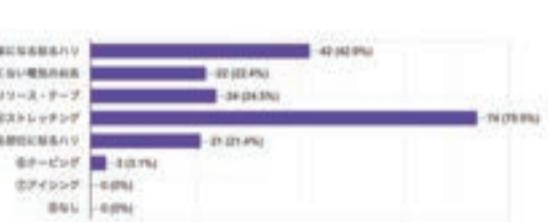
**結果** 「②無」の回答は最も多く55名で、全体の57.3%であった。

試したいサービス  
99件の回答

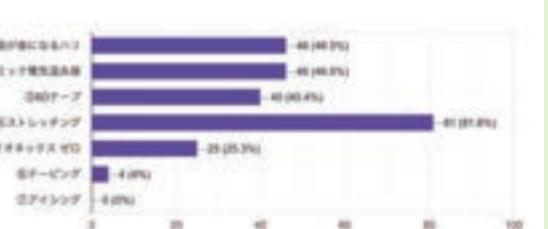
**結果** 「①ストレッ칭」の回答は最も多く85名で、全体の85.9%であった。(複数回答あり)

マラソンの満足度  
87件の回答

**結果** 「①満足」の回答が最も多く61名で、全体の70.1%であった。

良かったサービス  
98件の回答

**結果** 「④ストレッ칭」の回答は最も多く74名で、全体の75.5%であった。(複数回答あり)

サービス内容  
99件の回答

**結果** 「④ストレッ칭」の回答が最も多く81名で、全体の81.8%であった。

## 考 察



本年度のスポーツ鍼灸ボランティア活動では、利用者数が101名となり、昨年度の71名から大きく増加した。この増加は、ブース運営の認知向上に加え、問診時の丁寧な聞き取りと、ランナーの状態に応じた適切なサービス提案が功を奏した結果と考えられる。提供内容においては、従来から多かったストレッ칭に加え、呼吸が楽になるハリや筋膜リリーステーピングを用いたサービスの利用が増加した。特に、レース前後の身体状況や自覚症状を的確に把握し、目的を明確にしたサービスの勧め方ができていたことが、利用者満足度の向上につながったと考えられる。アンケート結果からも、提供内容およびスタッフ対応の双方において高い満足度が示されており、初めて利用するランナーが多い中でも、安心感のある対応ができていたことがうかがえる。また、「また利用したい」と回答した割合が高かった点は、スポーツ現場における鍼灸サービスの有用性を示す結果である。以上より、本活動はランナーのコンディションサポートに寄与するとともに、鍼灸サービスへの理解促進および信頼構築の面でも非常に有意義な取り組みであったと考える。今後も問診力と提案力を活かしたサービス提供を継続することで、さらなる質の向上と利用者拡大が期待される。

スポーツ鍼灸プロジェクト委員会  
委員長 松尾正己

# 学術講習会報告



2025年12月14日

## あらゆる疾患に応用できる鍼灸治療の組み立て方 ～東洋医学と現代医学から学ぶ鍼灸師のためのABC理論～

天堂鍼灸院 院長 中野 保二 先生

### 1. 講義の概要

本講義では、中野先生が長年の臨床経験から体系化した「ABC 理論」に基づき、複雑な疾患に対してどのように治療方針を組み立てるべきかが解説されました。東洋医学の古典的な知見と、現代医学的な神経生理学を融合させ、再現性の高い治療体系を構築することを目的としています。

### 2. 主要な内容と「ABC 理論」の核心

#### ① 3つのエリア (A/B/C) による治療構築

治療対象を以下の3つのエリアに分類し、全身のバランスを整えます。

- a. 体幹 (Core) : 生命維持の根本となる体幹部へのアプローチ。
- b. 四肢 (Boundaries) : 抹消からの刺激入力と、運動機能の改善。
- c. 頭部 (Command) : 中枢神経系への影響と、精神・神経的な調整。

#### ② 3つの神経枝のシンクロニシティ

脊髄神経の以下の3つの枝が運動（シンクロ）していることに着目し、効率的な刺鍼部位を選択します。

- 脊髄神経前枝：腹部や四肢の前側。
- 脊髄神経後枝：背部の一形・二形。
- 交感神経枝：内臓機能の調節。

これらを統合的に捉えることで、内臓疾患と体壁の反応を結びつけた治療が可能になります。

#### ③ 3つのフロントコア（重要筋）

臨床上、特に重要な「鍵」となる筋肉として以下の3つが挙げられました。

- 斜角筋：上肢や呼吸器、頸部の問題。
- 大腰筋：腰部、内臓、下肢の起点。
- 梨状筋：骨盤内疾患や坐骨神経の問題。

これらは深部の構造体であり、ここへの適切なアプローチが全身の筋緊張緩和に繋がります。

#### ④ 3つの生体反応

鍼刺激が体に与える影響を、以下の3つの観点から整理。

- 神経反射：即効性のある痛みや痺れの緩和。
- 内分泌反応：ホルモンバランスの調整。
- 免疫反応：自然治癒力の向上と炎症の抑制。

### 3. 実技・臨床への応用

講義内では、特定の症状（腰痛、肩こりなどの運動器疾患から、内臓機能低下まで）に対して、いかにして「診立て」を行い、ABC の優先順位をつけるかのデモンストレーションが行われました。特に「なぜそこに打つのか」という理論的裏付けを重視する姿勢が強調されました。

### 4. 総括・所感

本講義を通じて、鍼灸治療を単なる経験則に留めるのではなく、解剖学的・生理学的な視点（現代医学）と、全身のつながりを重視する視点（東洋医学）の両輪で捉える重要性を再確認しました。

「ABC 理論」は、初心者からベテランまでが共通の言語で治療を組み立てられる優れたフレームワークであり、今後の日常臨床において、治療ポイントの選定に迷った際の指針として非常に有用であると感じました。

(研修委員 久米昂)





## 靈枢勉強会報告

〈講師〉日本鍼灸研究会代表 篠原 孝市 先生

〈会場〉大阪府鍼灸師会 会館3階

第 55 回

令和7年(2025年)11月9日(日)

出席者:会場 16 名

## ○『黄帝内經靈樞』 淫邪發夢(いんじやはつむ) 第四十三 第一章

35 心氣盛。36 則夢善笑恐畏。

35 心氣(しんき)盛(さか)んなれば、36 則(すなわ)ち善笑(せんしよう)恐畏(きょうい)を夢みる。

(解説)

\*澁江抽齋(しぶえ ちゅうさい)はこのように書き込んでいる。坊本『甲乙經』、「善」作「喜」、「笑」下有「及」字、「畏」作「怖」。\*澁江抽齋(しぶえ ちゅうさい)が「坊本(ぼうほん)」と言う場合は、江戸時代の通常のテキストである『類經本(るいきょうほん)』か『日本寛文三年本(ほん・かんぶん・さんねんほん)』の何れか、または、その両方である。

\*「笑う」と「恐れる」というものは対極にあるが、心(しん)の氣(き)が盛んであって、腎(じん)の氣(き)が虚(きよ)すという状態になり、善笑(せんしよう)と恐畏(きょうい)という矛盾した両方が出てくる。

\*張介賓(ちょうかいひん)は、このように言う。

「心在志爲喜、在變動爲憂也。【心(しん)は志(し)に在(あ)りては喜(き)を爲(な)す。變動(へんどう)に在(あ)りては憂(うれ)いを爲(な)す。】」

\*ひとの笑いは「微笑む」程度がもっとも良い。「高笑いする」、「げらげら笑う」というのは「心(しん)」が盛んになった状態の一つである。どのように考えてもアンバランスな状態と言える。なにしろ元気がよくてハイテンションの人を診るときは、注意を要する、常にそのように思う。げんなりして元気がないというものも困るけれど、臨床の上では元気いっぱいというのも、注意を要する。

○37 脾氣盛。38 則夢歌樂。39 身體重不舉。

37 脾氣(ひき)盛(さか)んなれば、38~39 則(すなわ)ち歌樂(かがく)、身體(しんたい)重くして舉(あ)がらざることを夢みる。

(解説)

\*38節の「歌樂(かがく)」とは、歌を唄うということである。39節の「身體(しんたい)重くして」というのは、からだがだるいということである。それが「舉(あ)がらざる」ということなので、からだがだるくて動かない、という状態である。

\*頻繁(ひんぱん)にカラオケに行ってむやみに唄うという人は、臨床的に診ると、ある種のアンバランスが生じていると言える。歌う人のことを見て、そのすべての人を病気だと言うわけでは無いけれど、極端に走る場合は、そういうこともウォッチングしておかないと、いけないように思う。

\*馬玄臺(ばげんだい)は、このように言う。

「脾之聲爲歌、而其體主肉也。【脾(ひ)の聲(こゑ)は歌(か)を爲(な)す。而(しかし)して其(そ)の體(たい)は肉(にく)を主(つかさど)る也(なり)。】」

## ○40 脾氣盛。41 則夢腰脊兩解不屬。

40 脾氣(じんき)盛(さか)んなれば、41 則(すなわ)ち腰脊(ようせき)兩解(りょうかい)して屬(つ)かざることを夢みる。

(解説)

\*40節の「脾氣(じんき)盛(さか)ん」というのは、脾(じん)が実している状態を指す。中国医学の考え方では脾(じん)の氣(き)が虚(きよ)すというのが通常的な考え方である。ただし脾(じん)が虚(きよ)しているということを前提として、一時的なものとして、心(しん)の氣(き)が虚(きよ)して腎(じん)が盛んになる、あるいは、脾(ひ)の氣(き)が虚(きよ)して腎(じん)の氣(き)が盛んになるという場合があるので、そういう意味での「脾氣(じんき)盛(さか)ん」である。脾氣(じんき)が虚(きよ)すということが中国医学のすべてである。その関係性がある中で一時的にということである。

\*馬玄臺(ばげんだい)の注

「腰脊兩解不相連屬、以腰爲腎之府也。【腰脊(ようせき)兩解(りょうかい)相(あい)連屬(れんぞく)せず、腰(こし)を以(もつ)て腎(じん)之(の)府(ふ)を爲(な)す。】」

\*41節の「腰脊(ようせき)兩解(りょうかい)」というのは、腰(よう)は、ごし、脊(せき)は脊柱のこと、腰全体と脊柱が解けてしまつて力が入らないということを言つていようか。まっすぐ立つて、あるいは、まっすぐ坐つていられない状態を指していよう。「屬(つ)かず」といふのは、意のままに動かないということである。

## ○42 凡此十二盛者。43 至而寫之。44 立已。

42 凡(およ)そ此(こ)の十二盛(じゅうにせい)は、43 至(いた)りて之(これ)を寫(しゃ)すれば、44 立(た)ちどころに已(い)ゆ。

(解説)

\*43節の「至りて」というのが、むつかしい。郭靄春(かくあいしゅん)氏は、その著書にこのように記す。  
至而寫之/「至」猶云「了解」。《呂氏春秋·當染》高注:「至猶得也。」《先己》高注:「得猶知也。」「至而寫之」是謂了解邪之所在而用瀉法。」

\*おおむねを訳してみると。

「至(いた)りて之(これ)を瀉(しゃ)す」とは、「至(いた)る」とは猶(な

お)「了解」を云(い)う。《呂氏春秋(ろししゅんじゅう)》高注:「至(いた)るとは猶(なお)得(う)るなり。」《先己》高注:「得(う)るとは猶(なお)知るなり。」「至(いた)りて之(こ)れを瀉す(しゃ)とは、是(こ)れ、邪(じや)のあるところを了解して瀉法(しゃほう)を用(もち)いるを謂(い)う。」

\*「至りて」というのは、どここの五蔵(ごぞう)が悪いのかを了解した上で、瀉法(しゃほう)を行えと言っている。では、どこを瀉法(しゃほう)するのか、それが問題になる。五蔵(ごぞう)を治療するには、どうしたら良いのかという問題が生ずる。中国医学では、「五蔵(ごぞう)」というものは直接ふれること出来ないといふのが五蔵(ごぞう)に、手を届かせるために、經脈(けいみやく)があり、經脈(けいみやく)の上につぼがあると考えるべきだと思う。では俞穴(ゆかん)というの、どういう意味があるのかという問い合わせであろう。これは、また別の問題としてある。

\*わたしは、手の届かない五蔵(ごぞう)のために、蔵(ぞう)を陰(いん)、經脈(けいみやく)を陽(よう)と考えて、陽(よう)の部分を使つて陰(いん)の部分を治療するというようなものだったのではないかと考えている。

\*どこを使って、どのように治療するかということは、ここには書かれていながら、瀉法(しゃほう)する以上は、五蔵(ごぞう)に關係する經脈(けいみやく)、あるいは經脈(けいみやく)の上のつぼを施術するということだと思う。

\*『靈枢』の森を歩いてみませんか。毎月休まず第二日曜午前10時から12時まで、大阪府鍼灸師会館3階です。勉強会の案内につきましては本会ホームページをご確認下さい。

次回は 2026年1月11日(日)、『靈枢』外揣 第四十五 です。会場、WEBでお待ちしています。

(靈枢)のテキスト(日本内経医学会発行、明刊無名氏本)は現在1冊の在庫があります。1冊1,600円です。受講申し込み時、または当日、受講受け付けにてお問い合わせください

(靈枢)勉強会会話人 東大阪地域 松本政己

第 56 回

令和7年(2025年)12月14日(日)

会場15名(会員5名、一般10名)

WEB17名(会員9名、一般3名、学生5名)

## ○『黄帝内經靈樞』 順氣一日分爲四時(じゅんき)

## いちにち ぶんし しじ 第四十四 第一章

○01 黄帝曰。02 夫百病之所始生者。03 必起于燥溼寒暑風雨。04 陰陽喜怒。05 飲食居處。06 氣合而有形。07 得藏而有名。08 余知其然也。

01 黄帝(こうてい)曰(いわ)く、02 夫(そ)れ百病(ひやくびょう)の始めて生(しよう)する所(ところ)の者(もの)、03~05 必ず燥溼寒暑風雨(そうしつ・かんしょ・ふうう)、陰陽喜怒(いんよう・きよ)、飲食居處(いんしょく・きよしょ)に起(お)こる。06 氣(き)合(あ)いて形(かたち)有り。07 藏(ぞう)を得(え)て名(な)有(あ)り。08 余(われ)、其(そ)の然(しか)ることを知る。

(解説)

\*病氣(じんき)といふものは、二つの方角からもたらされる。一つは「外邪(じや)」といわれるもの、もう一つは後の時代に「内傷(うちけう)」と呼ばれるものである。

\*06節は、邪気が人のからだに影響して、「形(かたち)」つまり外に見えるように症状が出ることを示している。

\*07節は、病態が五蔵(ごぞう)のいづれかに分類されることによつて具体的な名称がつくことを言う。

\*黄帝(こうてい)の言わんとするところは、おおむねこのようなことか。「からだの外から、あるいは内からの影響によって、五蔵(ごぞう)」といふものが傷害され、その結果として、五蔵(ごぞう)と連絡している各々の經脈(けいみやく)の流注(りゅうちゅう)部分に病態があらわてくる。それを知っている。)

○09 夫百病者。10 多以旦慧晝安。11 夕加夜甚。12 何也。

09 夫(そ)れ百病(ひやくびょう)は、10 多くは以(もつ)て旦(あした)には慧(さと)く、晝(ひる)は安く、11 夕(ゆうべ)は加え、夜(よる)は甚(はなは)だしきことは、12 何(なん)ぞや、と。

(解説)

\*09~12節を訳してみると。「それにも関わらず、百病、諸々の病(やまい)」といふものは一日の時間で見れば、朝は割合軽く、晝(ひる)も比較的安定している。夕方になって来るとだんだん症状がひどくなり、夜は症状がはなはだしい、同じ藏(ぞう)の病気であっても、一日の時間によって症状のはげしさが違う、それはどのようなことか。)

○13 歙伯(きはく)曰(いわ)く、14 四時(しじ)の氣(き)、然(しか)らしむ、と。

(解説)

\*歙伯(きはく)は、黄帝(こうてい)の問いに、こんなふうに答えていく。「一年間の四季、春夏秋冬のように、一日の中にも、春夏秋冬のよう

な陰陽の氣(き)の変化があるのです。そこで、これらのことが起こるのです。」

○15 黄帝曰。16 願聞四時之氣。17 歙伯曰。18 春生夏長。19 秋收冬藏。20 是氣之常也。

15 黄帝(こうてい)曰(いわ)く、16 願(ねが)わくは四時(じじ)の氣(き)を聞かん。と。17 歙伯(きはく)曰(いわ)く、18 春(はる)は生(しよう)じ、夏(なつ)は長(ちょう)じ、19 秋(あき)は收(おさ)め、冬(ふゆ)は藏(ぞう)す。20 是(こ)れ氣(き)の常(つね)なり。

(解説)

\*15~16節で黄帝(こうてい)はこのように問うている。

「四時(じじ)の氣(き)とは一体、何であろうか。それを聞きたい。」

\*それに対し、歙伯(きはく)はこのように答えている。

「春は生(しよう)ず。夏は長(ちょう)じ、秋は收(おさ)め、冬は藏(ぞう)す。」

\*この答えの背景には、陰陽の氣(き)のバランスによって生(せい)、長(ちょう)、收(しゅう)、藏(ぞう)に働くという考え方がある。春は発生の気、夏は成長の気、秋はものを収める気、冬はものをしまいこむ気、これが気の一般的なありかたである。

○21 人亦應之。22 以一日分爲四時。23 朝則爲春。24 日中爲夏。25 日入爲秋。26 夜半爲冬。

21 人(ひと)も亦(ま)た之(これ)に應(おう)す。22 一日(いちにち)を以(もつ)て分(わか)ちて四時(じじ)と爲(な)す。23 朝(あさ)は則(すなわ)ち春(はる)と爲(な)し、24 日中(にちちゅう)は夏(なつ)と爲(な)し、25 日入(にちにゆう)は秋(あき)と爲(な)し、26 夜半(やはん)は冬(ふゆ)と爲(な)す。

(解説)

\*ここでは「一日(いちにち)」の中に「四時(じじ)」、つまり春夏秋冬を見出している。

\*朝が春(はる)、日中(にちちゅう)つまり正午であるが、これは夏(なつ)、日入(にちにゆう)、夕方は秋(あき)、夜半(やはん)、真夜中は冬(ふゆ)に対応させて考えている。なぜそのようにするのかは、27節以下に記されている。

○27 朝則人氣始生。28 痘氣衰。29 故旦慧。30 日中人氣長。31 長則勝邪。32 故安。33 夕則人氣始衰。34 邪氣始生。35 故加。36 夜半人氣入藏。37 邪氣獨居于身。38 故甚。

27 朝(あさ)には則(すなわ)ち人氣(じんき)、始(はじ)めて生(う)まる。28 痘氣(びょうき)衰(おとろ)う。29 故(ゆえ)に旦(あした)は慧(さと)し。30 日中(にちちゅう)には人氣(じんき)、長(ちょう)ず。31 長(ちょう)ずれば則(すなわ)ち邪(じや)に勝つ。32 故(ゆえ)に安(やす)し。33 夕(ゆうべ)には則(すなわ)ち人氣(じんき)、始(はじ)めて衰(おとろ)え、34 邪氣(じやき)始(はじ)めて生(しよう)す。35 故(ゆえ)に加(くわ)う。36 夜半(やはん)には人氣(じんき)、藏(ぞう)に入(い)り、37 邪氣(じやき)、獨(ひと)り身に居(お)る、38 故(ゆえ)に甚(はなは)だし。

(解説)

\*27節の「生(う)まる」という表現であるが、これは発生するという意味ではなくて、「発動」する、活動を開始するという意味である。

\*29節は「朝は比較的、症状が軽いのだ。」と言っている。

\*33節の「夕(ゆうべ)」、これは秋(あき)に対応する。陽(よう)の気が盛んであった朝(あさ)、晝(ひる)を経て、夕方から夜にかけては、陰(いん)の気が出てくる。その状態が33節の「人氣(じんき)、始(はじ)めて衰(おとろ)え」というものである。

\*34節「邪氣(じやき)始(はじ)めて生(しよう)す」という状態であるが、からだの中での陰陽のアンバランスが著しい状態を指す。そこで35節「故(ゆえ)に加(くわ)う」、症状がひどくなるのだと言う。

\*36~38節では、おおむね、このようなことを言つていいようか。「夜(よ)は氣(き)」といふものが藏(ぞう)に帰ることによって、睡眠状態に入るということなのであるが、その時には人氣(じんき)は邪氣(じやき)を抑えることが出来ず、症状がひどくなる。」

\*『靈枢』の森を歩いてみませんか。毎月休まず第二日曜午前10時から12時まで、大阪府鍼灸師会館3階です。勉強会の案内につきましては本会ホームページをご確認下さい。

次回は 2026年2月8日(日)『靈枢』五變(ごへん) 第四十六 です。会場、WEBでお待ちしています。

(靈枢)のテキスト(日本内経医学会発行、明刊無名氏本)は現在1冊の在庫があります。1冊1,600円です。受講申し込み時、または当日、受講受け付けにてお問い合わせください

(靈枢)勉強会会話人 東大阪地域 松本政己

令和8年度 2月・3月研修事業のご案内

令和7年度2月・3月研修事業のお知らせです。  
下記の要綱をご覧いただき、会員の先生方におかれましては、万障繰り合  
わせの上、ご参加お待ちしております。詳細は、研修会案内をご参照ください。

取得单位

(公社) 大阪府鍼灸師会生涯研修〈2単位〉  
(公財) 東洋療法研修試験財団生涯研修講座〈2単位〉

受講料 ※靈柩、学術 各々の支払いとなります

**会員:1,000円** (日鍼会・大鍼師会・柔整師会・全日本鍼灸学会の会員含む)

会員外:2,000円 学生:無料

※会員種別は自己申告制です。運営から種別の確認があった場合、速やかに確認できる様にご準備下さい。

参加申込み方法 先着順(会館参加 30名 WEB参加 300名)

QRコード・当会ホームページ manaable( マナブル ) から

参加申し込み後、受講料をお振り込みにてお



**お申込み・お振込み締切** 2月度 2月4日(水) ※お申込み開始は1月14日  
3月度 3月4日(水) ※お申込み開始は2月11日

※申し込みは、事前参加申し込みと、入金の確認（WEB受講）で完了となります。

WEB参加の方は、参加申し込みと受講料お支払い後、運営からメールにて当日の「ZOOMミーティングURL」と「講義資料」、をお送りいたします。手続きに多少のお時間を頂きますので早めのご入金にご協力ください。

資料につきましては必要に応じて各自印刷を事前に行っていただくようお願ひいたします。

※WEBセミナー会場へのセキュリティ強化と入室をスムーズに行うため、申し込み時の氏名と振り込み時の氏名およびZOOM入室時氏名を統一して本名にてご登録いただきますようお願い致します。

※受講時ビデオonをもって単位認定いたします  
※受得以降に講習会終了後に当会にて登録作業を行

※取得単位は、講習会終了後に当会にて登録作業を行います  
※単位認定は講習前後 15 分以上の遅刻・退室により付与致しかね  
ます。また受講状況により付与できない場合がございますのでご  
了承ください。

令和8年2月8日 (日)	
<b>10:00~12:00 靈枢勉強会 (ハイブリッド開催)</b>	<p>演題 ・靈枢勉強会 五變 第四十六 (ハイブリッド開催)</p> <p>講師 篠原 孝市 先生 日本鍼灸研究会 代表</p>
<b>13:30~16:45 学術講習会 (ハイブリッド開催)</b>	<p>演題 ・学術講習会 (ハイブリッド開催・アーカイブあり)            ①「美容医療のなかでの美容鍼の役割」            ②「立体造顔美容鍼によるリフトアップの即効性」(実技供覧)</p> <p>講師 岡本 真理 先生 (日本メディカル美容鍼協会代表 麻布ハリーク代表)</p>
大阪府鍼灸師会館 3階	
令和8年3月8日 (日)	
<b>10:00~12:00 靈枢勉強会 (ハイブリッド開催)</b>	<p>演題 ・靈枢勉強会 本藏 第四十七 (ハイブリッド開催)</p> <p>講師 篠原 孝市 先生 日本鍼灸研究会 代表</p>
大阪府鍼灸師会館 3階	

■ ご不明な点やお問い合わせは『大阪府鍼灸師会』まで E-MAIL : study@osaka-hari9.jp (研修委員会 清藤)